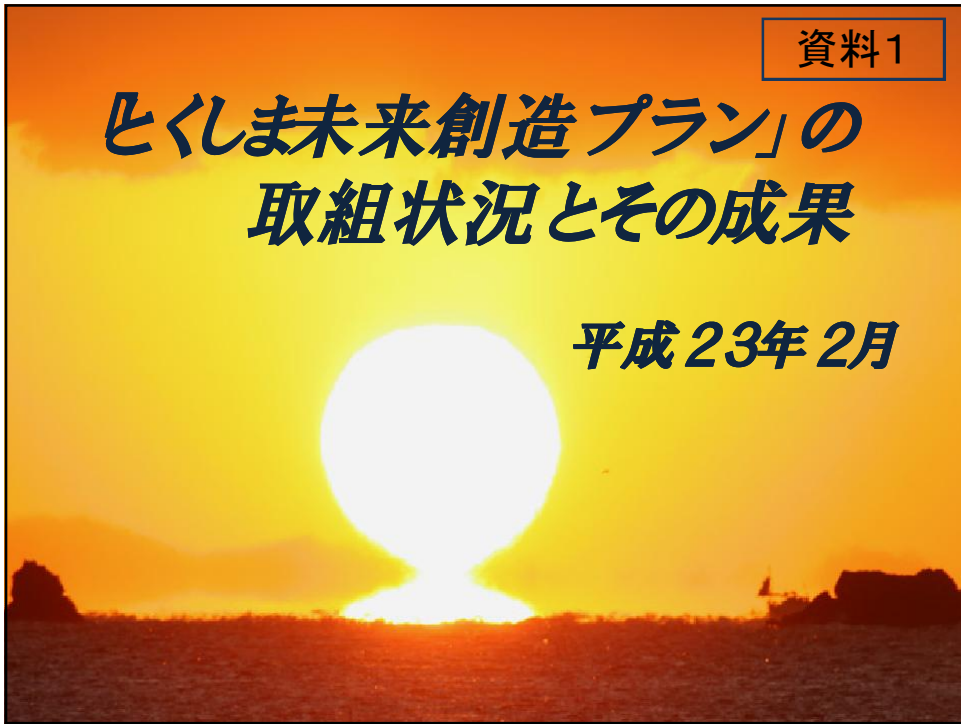


とくしま未来創造プラン」の 取組状況とその成果

平成23年2月



「とくしま未来創造プラン」

とくしまの「さらなる飛躍」に向け、県政運営を支えるとともに、
地域主権新時代を積極的にリードする「新たな県政のかたち」を構築
(推進期間:19~22年度までの4年間)

いよいよ集大成 これまでの取組みを総括

I 聖域なき財政
構造改革の推進

II スピードと成果重視の
経営体づくり

III 公共空間の
担い手づくり

IV 開かれた
県政づくり

V 能率の高い
職場環境づくり

VI 飛躍する能力
発揮の場づくり

更なる改革と県民サービスの充実へ



主な取組みとその成果



I 「聖域なき財政構造改革」の推進

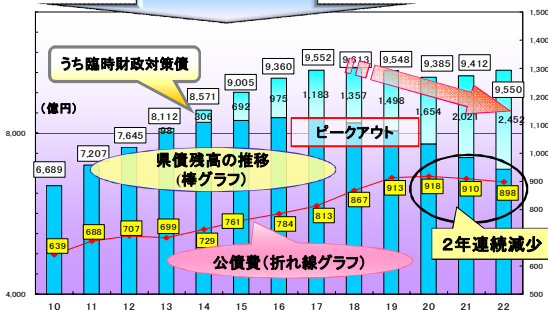
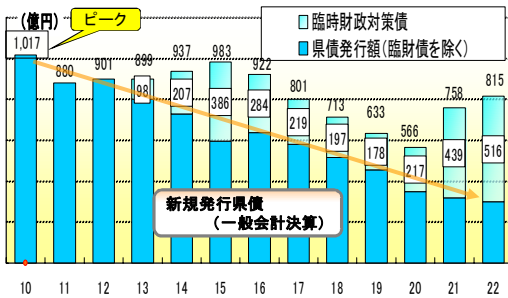
1 中期的な視点に立った財政改革①

(1) 「財政健全化」の推進

「持続可能な財政構造」の実現へ
着実に「財政構造改革」を推進！

◆ **新規発行県債**は、
徹底した投資的経費の重点化などにより
抑制基調を堅持！

※平成22年度は、ピーク時の1/3の水準



具体的な数値で「確かな成果」！

◆ **県債残高**は、
H18年度(約9,600億円)で
「ピークアウト」！

◆ 県債の返済にあたる**公債費**は
H20年度をピークに2年連続の減少
H22年度当初予算では、
4年ぶりの「800億円台」に！

1 中期的な視点に立った財政改革②

(2) 「百年に一度の経済危機」への対策

「百年に一度の経済危機」の襲来

米国発

- ◆サブプライム・ローン問題
- ◆原油・原材料価格の急高騰
- ◆リーマン・ショック (H20.9.15)

日米欧
世界三極同時
未曾有の危機

「迅速」かつ「切れ目のない」対策を実施

H20年度 計7回の補正予算 (事業費305億円) 31年ぶり!
「1月臨時会」

H21年度 県政史上最多級「計8回」の補正予算
県政史上初! 「5月補正予算」 (事業費 1,019億円)

平成22年度当初予算
<緊急経済雇用対策の集大成>

<p>◆「9年ぶりの増額予算」 一般会計総額 2.0%増</p> <p>◆重点2テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済・雇用対策 687億円(対前年+15%) ・安全・安心対策 533億円(対前年+18%) 	<p>◆「公共事業」の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共事業予算 対前年 95.4% (国は同 82%) ・県単公共 過去最大 85.6%増 <p style="text-align: center;">県単の伸率「全国第1位」</p>
--	---

相次いで出現する「新たな危機」への対応

- ◆「ギリシャ危機」
→ 欧州経済全体の混乱に発展
- ◆「急激な円高」
→ 15年半ぶりに80円台に突入

平成22年度
6月～11月の全議会で補正予算編成

- ・補正予算額累計 328億円
総事業費累計 445億円
- ・昨年度12月時点の計5回を上回る
計6回の補正予算編成
- ・11月補正事業規模(合計445億円)
過去10年で最大!

1 中期的な視点に立った財政改革② 上段と同一スライド
※ポップアップ後

(2) 「百年に一度の経済危機」への対策

「百年に一度の経済危機」の襲来

米国発

- ◆サブプライム・ローン問題
- ◆原油・原材料価格の急高騰
- ◆リーマン・ショック (H20.9.15)

日米欧
世界三極同時
未曾有の危機

「迅速」かつ「切れ目のない」対策を実施

H20年度 計7回の補正予算 (事業費305億円) 31年ぶり!
「1月臨時会」

H21年度 県政史上最多級「計8回」の補正予算
県政史上初! 「5月補正予算」 (事業費 1,019億円)

平成22年度当初予算
<緊急経済雇用対策の集大成>

<p>◆「9年ぶりの増額予算」 一般会計総額 2.0%増</p> <p>◆重点2テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済・雇用対策 687億円(対前年+15%) ・安全・安心対策 533億円(対前年+18%) 	<p>◆「公共事業」の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公共事業予算 対前年 95.4% (国は同 82%) ・県単公共 過去最大 85.6%増 <p style="text-align: center;">県単の伸率「全国第1位」</p>
--	---

相次いで出現する「新たな危機」への対応

- ◆「ギリシャ危機」
→ 欧州経済全体の混乱に発展
- ◆「急激な円高」
→ 15年半ぶりに80円台に突入

平成22年度
6月～11月の全議会で補正予算編成

- ・補正予算額累計 328億円
総事業費累計 445億円
- ・昨年度12月時点の計5回を上回る
計6回の補正予算編成
- ・11月補正事業規模(合計445億円)
過去10年で最大!

**県内の企業倒産件数が
2年連続して過去10年間で最少となるなど
厳しい中でも改善の兆し」**

**「百年に一度の経済危機」からの
一日も早い脱却を目指して!**

2 歳入改革の推進

(1) 平成20年3月「歳入対策企画員室」の設置

重点6項目を推進

ふるさと納税

県税徴収率

受益者負担の適正化

広告事業

未収金対策

未利用財産

(2) 取組みの成果

歳入確保実績

平成20年度 約5億8千万円

平成21年度 約9億6千万円

平成22年度 約21億6千万円
(H22.12月末現在)

3カ年累計
約37億円!

知恵と工夫を凝らして各項目を推進

・毎年、着実に成果を追加し
「ネーミングライツ」導入実績「全国1位」
(愛称数ベース:本県19)



・徳島ならではの
「LED」広告パネル
(県本庁舎エレベーター内)



3 歳出改革の推進(総人件費の抑制に向けた取組み)

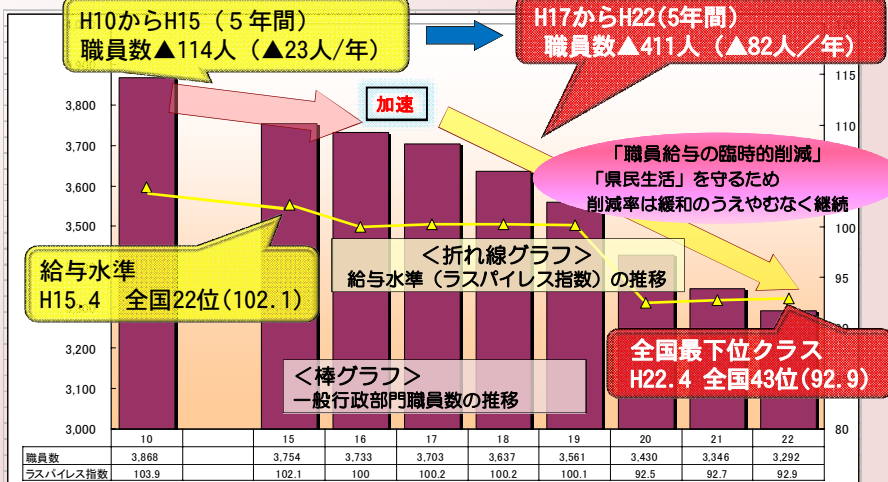
(1) 職員数・給与費の削減 ～3,000人体制に向けて～

目標：H19.4からH23.4まで
▲300人以上削減
(「▲200人以上」から100人上積み)

H19.4からH22.4の3年間で
▲269人削減

H10からH15(5年間)
職員数▲114人(▲23人/年)

H17からH22(5年間)
職員数▲411人(▲82人/年)



Ⅱ 「スピードと成果重視の経営体」づくり

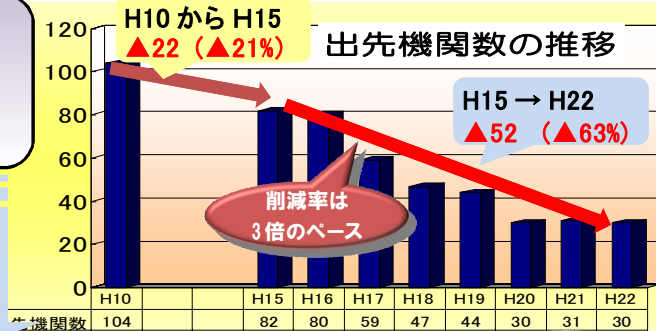
1 時代を先取りする組織改革①

(1) 出先機関の見直し

時代のニーズに即した徹底した見直しを推進
効率的な執行体制を構築!

併せて「新機能の付加」「権限の委譲」を実施!

- 「県民局」の設置(H17~18)
- 「東部圏域」の再編(H20)
- 「農林水産総合技術支援センター」の設置(H17)など



全国初!
地域完結型の「本庁横割りの組織」
地域所管の出先機関はゼロ

各種政策課題に適切かつスピード感をもって対応

研究・普及・教育が一体となった「知」の拠点集積!

1 時代を先取りする組織改革②

(2) 新たな「成長の芽」を伸ばす体制づくり

新成長戦略」を強力に推進!

◆ 「中国戦略」の推進

- ・本県初の海外事務所「上海事務所」設置(H22)
- ・中国・湖南省友好交流企画員室」設置(H22)
- ・陸・海・空」の政策を総合的に推進「運輸総局」設置(H21)



湖南省との定期チャーター便 就航決定!

◆ 「産業」の活性化

- ・新産業を戦略的に育成「新産業戦略課」設置(H20)

ものづくり新技術展示商談会」
H19 トヨタ
H20 コベルコ
H21 SANYO
H22 シャープ(2月)



徳島の誇るものづくり技術」を全国へ発信!

四国最大 徳島小松島港コンテナターミナル」供用開始! (3月)

「LED関連企業」100社集積 達成!

- ・「ブランド戦略」を強力に推進「ブランド戦略総局」設置(H21)
- ・森林・林業施策を一體的に推進「林業飛躍局」設置(H21)



「次世代林業プロジェクト」本年始動!
10年後の生産・利用「倍増」へ

新鮮なっ! とくしま」号 10万キロ 地球2周半)突破!

1 時代を先取りする組織改革③

(3)「全国モデル」の積極的な展開

「地域医療再生」の推進！

◆ 病院事業」の経営健全化

- ・ 病院局」の設置と 病院事業管理者」の招聘（H17～）
経営責任を明らかにし、機動的な体制のもと経営健全化を推進！

H18年度 10年ぶりの黒字化以降
4年連続で純損益は黒字を維持！

◆ 徳島ならではの」の創意工夫

- ・ 県立中央病院」の改築と 総合メディカルゾーン」構想の推進
「総合メディカルゾーン推進担当室長」の設置（H22）

新県立中央病院
H23年度 完成予定

総合メディカルゾーン

- 看護職の養成拠点 県立総合看護学校」開校
「看護学院」「看護専門学校」を統合し、
県内最大規模の看護師等養成校として開校

総合看護学校
H23年4月開校

県立総合看護学校

「まなびや」とくしま」の加速！

◆ 「ハナミズキプロジェクト」始動へ

- 全国に先駆けた 発達障害者支援ゾーン」の整備
施設を集約し、福祉・教育・医療・就労等の連携支援を実施！
- 【福祉】 発達障害者支援センター・乳児院
- 【教育】 県立みなと高等学園
- 【医療】 徳島赤十字ひのみね総合療育センター

H24年4月
整備完了予定

県立みなと高等学園

1 時代を先取りする組織改革④

(4)「関西広域連合」発足 ～「平成の新しい国づくり」スタート～

◆ 全国初の府県を跨ぐ 広域行政の先進モデル」がついに始動！

- ・ 四国と近畿の結節点」という本県の強みを活かしつつ
防災」観光」産業」医療」環境」など6分野に参加し
関西の課題をスピード感をもって解決へ！

H23.10月には本県で
近畿府県合同防災訓練」を実施
参加規模 約3千人



関西から！
日本の閉塞感打破へ！



本県には「広域医療局」を設置
広域的なドクターヘリの配置・運行などにより
「広域救急医療連携」のさらなる充実を図ります

◆ 広域行政の先進モデルとなる 「我が国初の取組み」

- H22.10.19 「関西広域連合規約案」が県議会で可決
- H22.11. 1 「関西広域連合」の設立許可を申請
- H22.12. 1 「関西広域連合」が発足
- H22.12. 4 「第1回広域連合委員会」開催
- H22.12. 6 「広域連合「広域医療局」を本県に開設
「徳島県関西広域連合推進本部」設置
「関西広域連合企画員室」設置



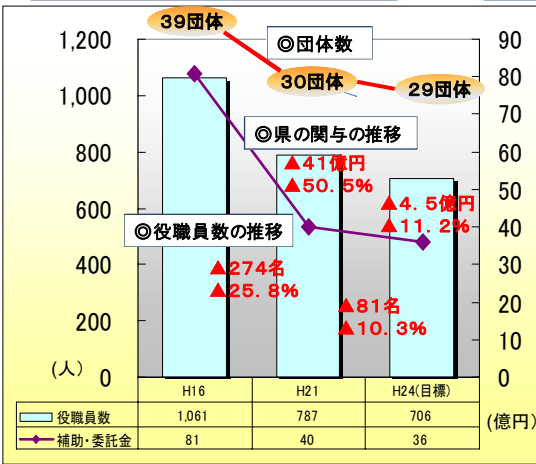
2 外郭団体の見直し ～更なる団体の自立に向けて～

前「経営改善計画」(H17～21)

次期「経営改善計画」スタート(H22～24)

団体数・役員員数・県の関与などで大幅な『経営のスリム化』を達成！

「経営面からの更なる見直し」とともに県民目線に立った『質的な改善』を推進



◆積極的情報公開の推進

- ・情報公開制度導入の拡充！
平成22年度中に全ての団体(公益法人)で制度導入
- ・積極的な情報発信！
新たに「県と外郭団体の随意契約の状況」を公表(H22.12月～)

◆公益法人改革への対応

- ・移行対象団体数
21団体

うち

- ・申請済 5団体
- ・移行済 1団体

((公財)埋蔵文化財センター)
<※H22.12月時点>



Ⅲ 「公共空間の担い手」づくり

1 官民協働による「新しい公共空間」の創造①

(1) 指定管理者制度の活用

- ◆18年度から制度を導入し、現在42施設！

制度導入からの経費節減額は約29億円！

- ◆平成22年度は11施設で更新手続を実施

併せて「指定管理者の提言」による「県民サービスの向上」も実現！

ケミナリビューホール」にLED大型ビジョンを設置



(2) PFI事業の推進

- ◆初のPFI事業「とくぎんトモニプラザ」リニューアルオープン(H22.4)

とくぎんトモニプラザ

- ◆第2弾 研究・普及・教育の「知の拠点」

「農林水産総合技術支援センター」PFI事業者決定(H22.10)
→ H25年オープンに向けて整備に着手！

- ◆第3弾「県営住宅・次世代集約化事業」

→ H24年度 着工を目指して推進中



1 官民協働による「新しい公共空間」の創造②

(3) 「とくしま“トクトク”事業」 ～創意工夫の3本柱～

◆県の創意工夫と県民の皆様の積極的な御協力による「21世紀の新しい行政手法」『とくしま“トクトク”事業』の展開

ゼロ予算事業 H22 155事業



◇「なのはなプロジェクト」推進事業

県民との協働推進事業

H22 56事業

◇官民協働型維持管理システム実証実験事業

県民スポンサー事業

H22 24事業



◇スポンサー付き道路照明灯事業

強力に推進!

H19 75事業
H20 120事業
H21 142事業
H22 235事業

約3倍!

(4) 「実証実験・モデル事業」 ～絵に描いた餅を食べられる餅に～

◆様々な「知恵」や「意欲」を具現化!
「21世紀の新しい行政手法」を新たな局面へ

<H22当初予算>

- ・実証実験事業 19事業
- ・モデル事業 32事業

実証実験事業

倉庫群



◇港にぎわい空間創出実証実験事業

完成イメージ



モデル事業



◇次世代エネルギー活用システム



1 官民協働による「新しい公共空間」の創造③

(5) 進化する「官民協働」 ～「徳島ならではの」創意工夫～

◆「とくしま協働の森づくり事業」の推進 (平成21年6月～)

- ・「カーボンオフセット」の取組みとしてモデル的に推進!



県民や企業とともに森を支える「協働の森」づくり!

わずか1年半余りで
協力企業数 156企業で全国1位!
約180haの森づくりを展開

◆全国初! 「協賛型ネーミングライツ」の実施
新町川ひかりプロムナード

- ・「ネーミングライツ」を「公共土木施設」にも導入!
- ・「ひかり」と「健康」という2つのテーマを設定し「愛称」とともに協賛企業等を募集



県内29企業・団体
総額約4百万円(1年間)
のご賛同!

◆新しい 徳島の空の玄関は官民協働でお出迎え

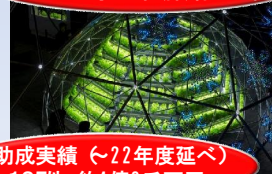
- ・「阿波おどり空港」にLED照明装置・光のアートを設置
- ・「魅力ある徳島」「LED王国・徳島」をアピール!

使用したLED約7万7千個)は
日亜化学工業(株)様から!

◆拳果一致で取り組む とくしま経済飛躍

- ・県内企業等7社の御協力を得て「とくしま経済飛躍ファンド」総額「125億円」を造成(H19~20)
- ・中小企業者等の新技術開発などの先進的な取組みを支援!

助成実績(〜22年度延べ)
135件 約4億8千万円



IV 「開かれた県政」づくり

1 県民との情報共有 ～「県庁コールセンター」の開設～

平成21年11月「待たさない、回さない」
すだちくんコールを開設！



◆ワンストップサービスによる
「県民サービスの向上」



◆問い合わせ対応業務の軽減による
「業務の効率化」

◆FAQの作成により、県民目線で
「全ての業務を分かりやすく説明」
「職員の事務能力の向上」

◆対応実績

スタートから1年間の総受付件数は **14,812件** (1日平均 61.2件)
※平成21年11月2日～平成22年10月31日(運用日数242日)

2 情報公開、情報提供の更なる徹底

◆情報公開度ランキング (知事部局)

情報公開制度の適正な運用
県が保有する情報の積極的な提供
・外郭団体」などの情報公開制度の指導・助言

H14 28位

H19～H21
3年連続 1位



V 「能率の高い職場環境」づくり

1 職員の「モチベーション向上」と「働きがいのある職場づくり」

◆全庁的な「業務・職場改善取組」の実施

- 平成20年度から全庁的に「業務棚卸し」を実施
- 平成22年度には「コンプライアンス推進取組」を加え、「業務・職場改善取組」として展開！



「ボトムアップ」による
県民サービスの向上と働きやすい職場づくり

◆これまでの実績 (累計)

<業務棚卸し>
・報告件数 1,393件
・時間短縮 約16.8万時間
(職員約84人分)

<コンプライアンス推進>
・報告件数 264件

更に、優れた取組みは表彰するとともに
プレゼンテーション 事例発表会を開催！

平成22年度 最優秀賞

業務改善部門

「安否・参集情報
確認サービス」を
広く県民に提供！

すだちくんメール

による安否確認と情報発信

<http://ourtokushima.jp>

コンプライアンス推進部門

手作りで
「コンプライアンス
啓発用ビデオ」を
作成！



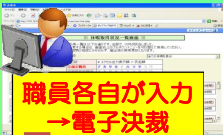
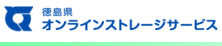



「モチベーション向上」と
取組成果の 全庁共有！」

2 ICTを活用した業務・システムの最適化

◆最高情報統括監 (CD)の招聘 (H18～)

～全庁的な「CTガバナンス体制」を構築～

・「業務・システムの最適化」
 ・「情報システム調達の改善」
 ・「情報セキュリティの確保」

<p style="text-align: center;">21年度 約36人分の省力化</p> <p>・総務事務システム ～総務事務の集約化～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p style="background-color: yellow; padding: 2px; font-weight: bold;">職員各自が入力 →電子決裁</p> </div> <div style="width: 45%; font-size: small;"> <ul style="list-style-type: none"> ・出勤処理 ・休暇請求 ・出張申請 ・超過勤務手当等 </div> </div> <p style="color: red; font-weight: bold;">「総務事務管理課」で集約処理</p> <p>・オンライン・ストレージ サービス ～メールでは送れない 大容量ファイルのやりとりが可能に～</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">   </div> <div style="background-color: red; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 県民や企業の皆さんとの 情報共有が格段に円滑化！ </div>	<p style="text-align: center;">22年度 約34人分の省力化</p> <p>・新グループウェア「Joruri」 ～オープンソースで様々な効率化に 低コスト対応～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p style="background-color: yellow; border-radius: 50%; padding: 5px; font-weight: bold;">進化する システム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: x-small;">在庁表示 (在庁表示板の廃止)</p> </div> </div> <p style="font-size: x-small;">会議等案内システム (県庁1階ロビー)</p> <div style="background-color: red; color: white; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> オープンソースならではの 柔軟性・機動性で今後の更なる 県民サービスの向上 業務の効率化に大きな可能性！ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・電子決裁・文書管理システム ～決裁の迅速化、効率的な文書管理～ ・庁舎内ファイルサーバー ～データの共有化とハードの集約化～ など <div style="display: flex; justify-content: flex-end; align-items: center;">  </div>
---	--

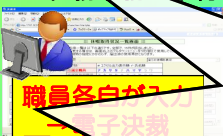




2 ICTを活用した業務・システムの最適化

◆最高情報統括監 (CD)の招聘 (H18～)

～全庁的な「CTガバナンス体制」を構築～

・「業務・システム」
 ・「情報システム調達の改善」
 ・「情報セキュリティの確保」

上段と同一スライド
※ポップアップ後

<p style="text-align: center;">21年度 約36人分の省力化</p> <p>・総務事務システム ～総務事務の集約化～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p style="background-color: yellow; padding: 2px; font-weight: bold;">職員各自が入力 →電子決裁</p> </div> <div style="width: 45%; font-size: small;"> <ul style="list-style-type: none"> ・出勤処理 ・休暇請求 ・出張申請 ・超過勤務手当等 </div> </div> <p style="color: red; font-weight: bold;">「総務事務管理課」で集約処理</p> <p>・オンライン・ストレージ サービス ～メールでは送れない 大容量ファイルのやりとりが可能に～</p> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">   </div> <div style="background-color: red; color: white; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin-top: 10px;"> 県民や企業の皆さんとの 情報共有が格段に円滑化！ </div>	<p style="text-align: center;">22年度 約34人分の省力化</p> <p>・新グループウェア「Joruri」 ～オープンソースで様々な効率化に 低コスト対応～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p style="background-color: yellow; border-radius: 50%; padding: 5px; font-weight: bold;">進化する システム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p style="font-size: x-small;">在庁表示 (在庁表示板の廃止)</p> </div> </div> <p style="font-size: x-small;">会議等案内システム (県庁1階ロビー)</p> <div style="background-color: red; color: white; border-radius: 15px; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> オープンソースならではの 柔軟性・機動性で今後の更なる 県民サービスの向上 業務の効率化に大きな可能性！ </div> <ul style="list-style-type: none"> ・電子決裁・文書管理システム ～決裁の迅速化、効率的な文書管理～ ・庁舎内ファイルサーバー ～データの共有化とハードの集約化～ など <div style="display: flex; justify-content: flex-end; align-items: center;">  </div>
---	--

「ICT」と「業務棚卸し」で
 トータル約120人分
 約1.6億円
 の効率化を実現！

VI 「飛躍する能力発揮の場」づくり

1 「人材能力開発」の取組み①



「人材能力開発についての
意見書」(H20. 8月)

複雑・多様化する県民ニーズに効率的、機動的
に応えていくための「人材」の最大限の活用と
その能力開発に向けた取組み

(1) 簡素で責任の所在が明確な「組織体制」、職制」の見直し

◆ 行政課題の多様化・高度化に迅速に対応できる執行体制の構築

特命事項を処理するスタッフ的な管理職の廃止 (H21)
(「理事」、副理事)、参事」の廃止)

ライン職への一元化！

◆ 本格的な局制の導入」(H21)

関連する課の連携が特に重要な分野に局制を導入

スピード感を持った
施策展開を実現！

◆ 職責の明確化」と 意欲の向上

・ 副部長」副課長」主任主事」の設置 (H21, 22)

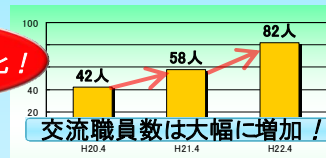
◆ 職種間交流の推進

・ 事務・技術」の撤廃 (H22)

組織のさらなる活性化！

◆ 現業業務の見直し

・ 意欲と能力のある現業職員を積極的に
行政職員に登用 (H23～)



1 「人材能力開発」の取組み②

(2) 職員の意欲と能力を高める「人事制度」の構築、研修制度」の充実

◆ 人事の複線化 ~ 専門職」の育成~

- ・ 「専門職養成コース」の創設
- ・ 専門的知識、経験を活かし指導・助言を行う職の設置
(「専門幹」「主任専門員」「専門員」)

法務、情報、税務など
全11コースを設置し
職員から公募！

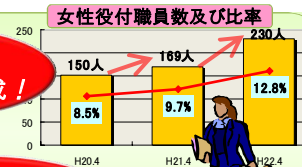


◆ 女性の積極的な登用

- ・ 意欲と能力のある女性職員の
係長以上の職への登用を推進
- ・ 県審議会等への女性委員の登用促進
(女性委員の割合 H22年度：4.7%)

女性役付職員
目標200人を達成！

女性委員の割合
3年連続 全国1位！



◆ 「とくしま人材能力開発センター」新設

- ・ 平成22年4月～「自治研修センター」と
「総合教育センター」の連携による
新たな研修スタイルの創設



行政職員の研修に教員が参加
互いの施設を有効活用！

1 「人材能力開発」の取組み③

(3) 地域の人材や職員の知識・経験を活かし、社会貢献できる仕組みの創設

新たな「官民協働の社会貢献システム」

とくしま入財”バンク”設置

(H20.12月～運用)

地域リーダー、審議会委員
県退職予定者等

情報登録

とくしま入財”バンク”

- ①地域人材の活用
審議会委員等の人材情報をデータベース化
「まなびーあ人材バンク」との連携・活用
- ②県OBの活用
県退職者及び企業等の人材・求人情報を
データベース化(一元的マッチング)

◆「地域人材」を
公共分野で

◆「県退職者」を
民間分野で

ともに積極的に
活用！

(4) 地域人材の育成 ～県立総合大学校「まなびーあ徳島」開校～

平成20年6月 県民に親しまれ、気軽に参加いただける「県民“まなび”拠点」

「まなびーあ徳島」開校

21世紀を担う
地域人材を創造！

(設置前)

県庁各部局が、
個別に講座を運営
・シルバー大学
・テクノスクール
・農業大学校 など

- ① 横断的な連携による
ワンストップでの情報提供
- ② 関係機関が連携し
質の高い多様な学習機会を提供
- ③ 徳島からの提言をジャパンスタードへ
政策研究機能の充実

主催講座の受講者数
延べ 約19万人！
(～H22.12月)



2 政策立案能力の向上 ～徳島発の政策提言～

知恵は地方にこそあり 徳島からの提言をジャパンスタードに！

激しく変化する社会・経済情勢にスピード感をもって対応！

H18
年間1回・計28項目

H19～H22(4年間)
合計27回・256項目

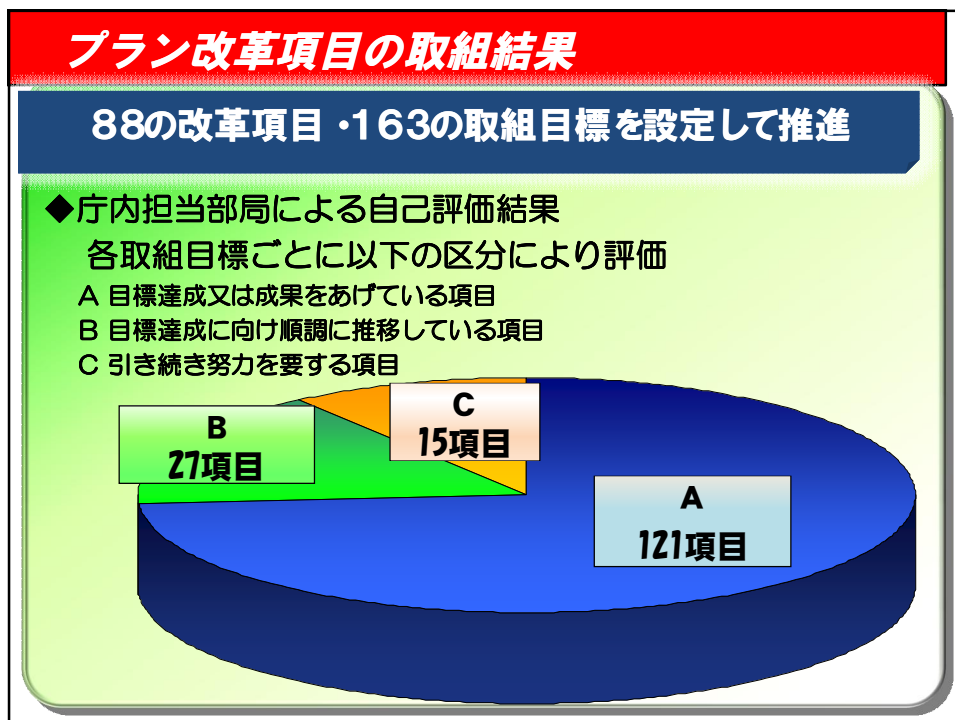
切れ目のない
政策提言！

主な成果 (平成23年度政府予算関係)

- ・「健康・医療クラスター」の推進エンジン
「地域イノベーション戦略支援プログラム」が認められる
- ・地域公共交通の維持・支援のため
「地域公共交通確保維持改善事業」305億円が創設される
・JR四国の経営支援に140億円の経営安定基金の積み増しなど実施へ
- ・「四国横断自動車道」から南へ延伸する「桑野道路」が新規事業箇所に
- ・「本四道路」は「地方の求める高速道路料金全国一律制度を
視野に入れ、今後、地方と協議」とされた



挙県一致で
引き続き強く提言！



主な成果とさらなる課題

区分	評価	主な成果	さらなる課題
I「持続可能な財政構造」づくり	A 18 B 6 C 2	財政構造改革の推進 総人件費の抑制 県債発行・公債費の抑制	財政構造改革の推進 歳入確保対策の推進
II「スピードと成果重視の経営体」づくり	A 28 B 5 C 2	職員数の削減 出先機関の見直し 外郭団体等の見直し	組織体制のスリム化 事務事業の見直し
III「公共空間の担い手」づくり	A 33 B 9 C 1	県民、NPO等との協働事業の推進 “トクトク”事業、実証実験・モデル事業の推進 関西広域連合発足	積極的な公共空間の担い手づくり 地域の防災力の向上
IV「開かれた県政」づくり	A 12 B 2 C 2	情報公開度ランキング3年連続 全国1位 すだちくんコール 監察局の設置	県政情報提供の推進
V「能率の高い職場環境」づくり	A 14 B 4 C 6	ICTを活用した業務・システムの最適化 業務改善の推進	仕事の効率や生産性の向上 執務環境の改善
VI「飛躍する能力発揮の場」づくり	A 16 B 1 C 2	国への政策提言 女性職員の登用 とくしま“人財”バンク	職員の能力活用 既存ストックの有効活用

これからの時代を見据えて

◆「地域主権改革」の更なる進展

- ・平成21年11月 「地域主権戦略会議」設置
- ・平成22年 6月 「地域主権戦略大綱」閣議決定
- ・平成22年12月 「アクション・プラン（国の出先機関廃止）」閣議決定
- ◎全国知事会でも「地域主権関連3法案の早期成立」「義務付け・枠付けの見直し」「国の出先機関の廃止」などを強く要請！

「地域のことは地域が決める」時代へ！

◆引き続き厳しい我が国の財政環境

- ・国の予算編成は、2年連続で国債発行額が税収を上回る状況
- ・国と地方を合わせた長期債務残高は891兆円と過去最高を更新
- ・国内総生産(GDP)の2倍超まで悪化する見込み
- ・一方で社会保障を中心に行政サービス需要は増大

地方税財源の抜本的な確保対策が必要！

◆「知恵は地方にこそあり！」の気概で

徳島発の政策提言」をスピード感をもって実施！

- ◆時代のニーズを捉え**県民目線**に立った**不断の「行財政改革」**を推進！



「百年に一度のピンチ」を「未来に向けた徳島発展の礎を築いていく大チャンス」へ！



**徳島県の
未来を創造」していくために**